

第1回 日本の農業

1 食生活の変化

○食生活の洋風化→ 農産物の生産額割合
(1960年代)

へった→ _____
ふえた→ _____

2 いなさく 稲作

○生産量が多い

都道府県→ _____
地方→ _____

※すいでんたんさくちたい水田単作地帯→ _____

↓

夏の稲作に力を入れる

○ひんしゅかいりょう品種改良

3 畑作

○畑作

稲作に向かない→ _____
(かざんばい火山灰地)
大消費地だいしょうひちに近い→ _____

↓

新鮮な野菜しんせんを安く出荷しゅつかできる→ _____

※時期をずらして高く売る {
 はやづくり→ _____
 おそづくり→ _____

4 野菜と果実 ^{かじつ}

○野菜 {
 冬でも暖かい→ 夏野菜の _____
 ※宮崎平野・高知平野
 夏でも涼しい→ 高原野菜の _____
 ※^{つまごい}孺恋村 (群馬県)・^{のべやまはら}野辺山原 (長野県)

○果実 {
 気候の特色 {
 暖かい→ _____
 涼しい→ _____
 水はけのよい^{せんじょうち}扇状地→ _____

5 麦、いも・豆類、^{こうげいさくもつ}工芸作物

○外国から安く輸入する {
 小麦
 大豆
 _____ } とうもろこし

○工芸作物 {
 こうぞ・みつまた→ 和紙
 さとうきび・てんさい→ さとう
 大豆・^{なたね}菜種→ 油
 茶 _____
 いぐさ→ たたみ表

6 日本の^{ぼくちく}牧畜

○牛 { 乳牛→ _____
肉牛→ _____



○にわとり { ^{わかどり}肉用若鶏 (ブロイラー)
^{さいらんけい}採卵鶏

7 日本の農業の問題点

○せまい^{こうち}耕地→ 工夫 { 一定の面積からの^{しゅうかく}収穫をふやす

耕地そのものをふやす

※^{かいらょう}土地改良・^{かいこん}開墾 _____

○農業のおとろえ { ^{しゅうぎょう}農業^{げんしょう}就業人口の^{こうれい}減少と高齢化

^{じきゅうりつ}自給率の低下 _____

○米作り { 米あまり→ _____
(1970年から)
^{ほご}保護から自由へ

第1回 日本の農業

1 食生活の変化

○食生活の洋風化→ 農産物の生産額割合
(1960年代)

へった→ 米

ふえた→ 畜産物・野菜

2 稲作

○生産量が多い

都道府県→ 新潟県・北海道

地方→ 東北地方

※水田単作地帯→ 冬の雪で裏作ができない



夏の稲作に力を入れる

○品種改良

寒さに強い

味が良い

3 畑作

○畑作

稲作に向かない→ シラス台地など

(火山灰地)

大消費地に近い→ 関東平野など



新鮮な野菜を安く出荷できる→ 近郊農業

※時期をずらして高く売る {

- はやづくり → 促成栽培
- おそづくり → 抑制栽培

4 野菜と果実

○野菜 {

- 冬でも暖かい → 夏野菜の促成栽培
- ※宮崎平野・高知平野
- 夏でも涼しい → 高原野菜の抑制栽培
- ※嬬恋村 (群馬県)・野辺山原 (長野県)

○果実 {

- 気候の特色 {
 - 暖かい → みかん
 - 涼しい → りんご
- 水はけのよい扇状地 → ぶどう・もも

5 麦、いも・豆類、工芸作物

○外国から安く輸入する {

- 小麦
- 大豆
- ※特にアメリカ → とうもろこし

○工芸作物 {

- こうぞ・みつまた → 和紙
- さとうきび・てんさい → さとう
- 大豆・菜種 → 油
- 茶 → ※牧ノ原 (静岡県)
- いぐさ → たたみ表

6 日本ほくちくの牧畜

- 牛 { 乳牛→ 根釧台地（北海道）のパイロットファーム
 らくのう
 ※酪農→ 乳牛を育て牛乳をとる
肉牛→ シラス台地が広がる鹿児島県・宮崎県



- にわとり { 肉用若鶏わかどり（ブロイラー）
 さいらんけい
 採卵鶏

7 日本の農業の問題点

- せまい耕地こうち→ 工夫 { 一定の面積しゅうかくからの収穫をふやす
 ※二期作・二毛作
耕地そのものをふやす
 かいらいよう かいこん
 ※土地改良・開墾・干拓

- 農業のおとろえ { 農業就業人口しゅうぎょう げんしょう こうれいの減少と高齢化
 じきゅうりつ
 自給率の低下 ※小麦・大豆・とうもろこし

- 米作り { 米あまり→ 減反政策
 (1970年から)
 ほご
 保護から自由へ